

第2回 東京 憲法を起草する会

令和3年11月13日

第2回東京憲法を起草する会

- ◆ 15:30～16:00 参加者間の情報共有
- ◆ 16:00～17:30 荒谷からの提言等
- ◆ 17:30～18:15 (休憩後) 衆議
- ◆ 18:15～18:30 荒谷まとめ

荒谷からの提言

- 1 「**憲法を起草する会**」について
- 2 **日本創成の当事者の使命**
- 3 **今の日本を正す規範とは**

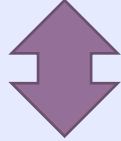
趣旨と議論の前提

- ◆ 趣旨：私たち一人一人が、日本創成の当事者として考え行動する。
- ◆ 前提：現行憲法の改正議論ではなく、本来あるべき日本社会とその規範を取り戻す。
外来の「法」の概念にとらわれず、憲法という呼び名、成文化することの必要性等についても検討する。

現行憲法

- ◆ 前文「**政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意**」
「**平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意**」
- ◆ 9条「**戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認**」
- ◆ 99条「**天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ**」

現行憲法

- ◆ 前文「われらは、これに反する一切の詔勅を排除する」
 - ◆ 98条「この憲法は、国の最高法規であつて、その条規に反する詔勅は、その効力を有しない」
- 
- ◆ 建国の詔【神武天皇】「建国宣言」
 - ◆ 憲法17条【聖徳太子】「承詔必謹」
 - ◆ 五箇條の御誓文【明治天皇】「国是」

講演内容

- 1 「憲法を起草する会」について
- 2 日本創成の当事者の使命
- 3 今の日本を正す規範とは

万物万象一体の宇宙観

産霊（ムスビ）

天地初發之時 於高天原成神名

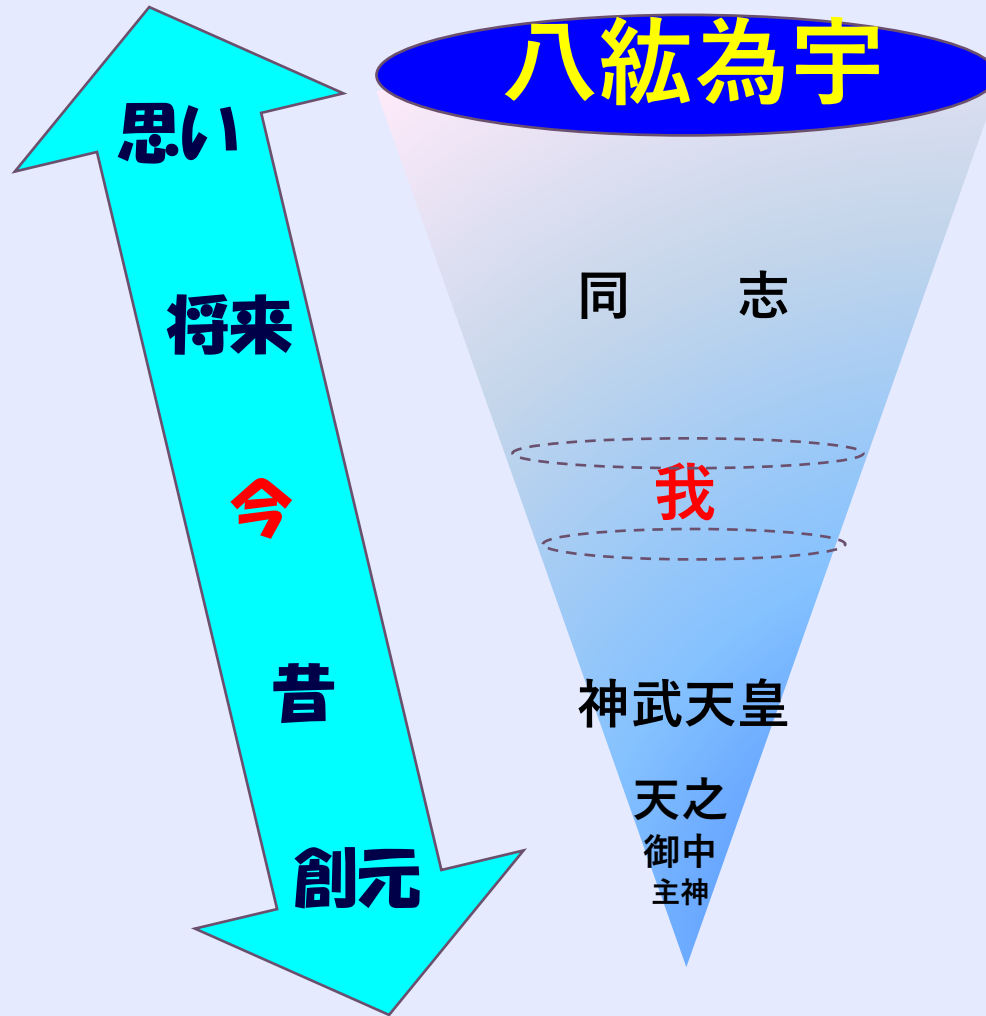
天之御中主神

高皇産霊神

神皇産霊神



一体としての時 「中今」



出来る出来ないは無い
人類もまた
宇宙創元の理に従う

己の一生を
天命に一致させ
使命を完遂する

万物万象一元の
宇宙創元

日本創成の当事者の使命を遂行する為

日本創成の当事者に成る

(体験する)

日本創成の当事者として知る

(体得する)

日本創成の当事者として行う

(体顕する)

日本創成の当事者に成る 体験する

【農】

祖先が作った水田で稲作をする

「むすびの里」の【農】



「むすびの里」の【農】



「むすびの里」の【農】



「むすびの里」の【農】



「むすびの里」の【農】



「むすびの里」の【農】



**日本創成を当事者として知る
体得する**

【学】

祖先の思いと行跡を実践する

「むすびの里」の【学】



**日本創成を当事者として行う
体顯する**

【武】

**荒魂を発顯する
七生報国の大丈夫を示す**

「むすびの里」の【武】



一体を守る日本文化

和魂と荒魂

直霊(和)の作用 【和魂】

禍津霊(分裂)を直霊(一体)に
復元する作用
【荒魂】

和を再生する

世界的禍津靈を直靈に戻すには
荒魂が必要

人間が為さなければ自然が為す

荒魂の時代へ



七生報国(滅敵)

時を超越する命の一体感による粘り強い精神文化

成し遂げるまで
何度でも生を変えて行動する
自分が行動することに意味がある

大楠公

正成一人なお生きていると聞こし召せば
聖運ついに開かれるべしと思し召せ



大丈夫の気概

一切の合理性・有効性を排した
大丈夫の精神

講演内容

- 1 「憲法を起草する会」について
- 2 日本創成の当事者の使命
- 3 今の日本を正す規範とは

新世界秩序 (New World Order)

W・チャーチル英首相

国民主権国家を廃絶し世界政府の管理による恒久的な平和体制の実現が不可欠である。

世界政府のパワーエリートをトップとする
地球レベルでの政治・経済・金融・社会政策の統一
究極的には末端の個人レベルでの思想や行動の
統制・統御を目的とする管理社会の実現を指すもの

市場原理すなわちマネーによる自由競争に勝利した個人が
世界のルールメイカーの地位を得る。

COVID-19 ロードマップ

全体主義的「ニューノーマル」を創出するための12段階計画

重要

1	問題の創出		普通の症状のインフルエンザのような病気、しかも99%以上の回復率で容易に治療可能な病気を利用する。本質的には季節的なインフルエンザと変わらないが、どんなインフルエンザの場合と同様免疫系が弱体化しているひとは危険である病気であること。	
2	恐怖の反応を引き起こす		主流メディアを使い、大々的なパニックを引き起こす。COVIDの症状があった死亡ケースはすべてCOVIDによる死亡として、毎日のニュースで必ず流すこと。ほとんどのひとは何の症状もなく、あっても軽い症状であるが、COVIDのケースとしてニュースに流すこと。COVID以外の病気とそれらの死因は一切無視すること。質問をする人間は誰でも黙らせること。人々を「恐怖」で打ちのめし、やすやすと「自由」を手放すようにしむける。	
3	ロックダウンの強制施行		グローバルエリート「グレートリセット」の一環として、ロックダウンを強制的に施行して、経済を破壊すること。(1)小中企業をつぶすこと。(2)富と権力をグローバル企業に移行させること。(3)国際金融業者への国家的負債が巨額にかさむようにすること。キャッシュレス決済を推進すること。	社会的・経済的自由の剥奪
4	患者数の誇張		本来まったく信頼性のないPCR検査を使って、COVID-19ウイルスがより悪性のものであるように演出し、健康な無症状者の中の感染者の数を大きく誇張すること。科学者や医者には金を十分つかませて、PCR検査とワクチン接種を支持させること。	
5	マスク着用の強制		恐怖心を煽り、服従を視覚化するためにマスクを義務化すること。現実には布のマスクがどんなウイルスに対しても全く効果がないことは言うまでもない。マスク着用の延長は実際は健康リスクを高める。酸素不足、呼吸の二酸化炭素の逆流により、真菌感染症、気管支肺炎、歯周病、等々といった健康障害が起きる。	
6	接触確認アプリの強制		「監視」を当たり前のものとする。健康上の理由」という大義名分を使い、ひとびとのあらゆる個人の行動やあらゆる社会的接触がすべて追跡、記録、分析されるのを、仕方のないこととして受け入れさせること。	社会的プライバシーの剥奪
7	健康パスポートの強制		スマホ用の「健康パスポートアプリ」を導入すること。これによって人々の移動のみならず、教育、雇用等のあらゆるタイプの社会的サービスへのアクセスを監視し、制限をかけることができる。これらは、グローバルデジタル認証追跡システムの基礎となる。(ID2020)	移動の自由の剥奪
8	5Gネットワークの強制的運用		5Gネットワークによって、スマホ等のモバイル端末からの膨大な個人情報をコンスタントに吸い上げることが可能となる。5Gはまた、高周波のマイクロ波電磁放射線の出力を上げることによって血中酸素レベルを下げ、呼吸器症状を引き起こすことができる。5Gによって引き起こされるこうした病気は自動的に COVID によるものとなる。	
9	ワクチンの義務的接種		製造物責任を100%免除されている「ビッグファーマ」は、ワクチン接種の義務化によって莫大な利益を保障されている。新型のDNA 組み換えワクチンによって、服従と不妊のために遺伝学的に変容された人間を創出することが可能となる。世界の90億の人口をわずか5億にまで削減する計画の実現には、ワクチンの大量接種が決め手となる。	身体的自由の剥奪
10	キャッシュレス経済への強制的移行		現金だと人々はプライバシーを侵されることなく買い物ができる。しかし、全面的にキャッシュレス化した経済では、金銭的プライバシーはすべて剥奪されることになる。「お金」がすべてデジタルマネー化してしまえば、政府によっては認識された見解や行動に反する人間の「お金」は簡単に元栓を止めることができる。	金銭的自由の剥奪
11	ナノチップの強制的埋め込み		「遠隔操作電波周波数 ID (RFID) ナノチップ」を体内に埋め込むことによって人間の行動、他人との接触、健康状態、デジタルマネー履歴等が24時間常に追跡監視下になる。このチップの埋め込みによって、人間のプライバシーは完全に剥奪される。これが普通になれば、次は義務化され、ゆくゆくは人間はAI マシーンと統合されるしかなくなる。	人間の全プライバシーの剥奪
12	ニューノーマル：全体主義的専制支配 (2030までに完成)		「ニューノーマル」は、ほんのひとつまみのグローバルエリートの利益のために展開される。彼らの計画は、人口削減し、残った人間を非人間化するハイテク全体主義の世界の樹立である。そこに生きる人間たちは、遺伝子を組み替えられて従順になり、ナノチップを埋め込まれて永遠にネットには繋がれていても、互いは切り離されて、バーチャルな生活を送り、そうした人間たちを人工知能が常に監視・コントロールしている。	自由意志と人間精神の剥奪



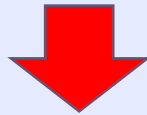
自由競争の勝利者が支配する世界

現状「新型コロナ対策」

恐怖による相互不信・対立

恐怖による孤立化・非社会化

情報統制と法的強制



将来のエンドステート「新世界秩序」

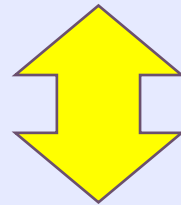
パワーエリートをトップとする

地球レベルでの政治・経済・金融・社会政策の統一

末端の個人レベルでの思想や行動を

完全に統制する管理社会の実現

恐怖による相互不信・対立
恐怖による孤立化・非社会化
情報統制と法的強制



相互信頼・親和
集団化・社会化
情報共有・抵抗

大調和を目指す 日本の文化社会の実現



**相互信頼・親和
集団化・社会化**

具体的行動

- ◆ グローバリゼーションから自立した共同体をつくる。
- ◆ 共同体間のむすびをつくる。
- ◆ 共同体間で情報を共有する。
- ◆ 共同体間で相互扶助する。
- ◆ 共同体一丸となって日本文化社会を広める。
- ◆ 共同体間の規範を日本国家の規範とする。

熊野飛鳥むすびの里 師霊武道場

増改築協力のお知らせ

山を買い取り材木を伐採



樹皮をはがし製材



工事(基礎工事)

